

R5年度 「消費生活」 シラバス	単位数 学科・学年・学級	3単位 生活科学科 第3学年 4組
------------------	-----------------	----------------------

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、消費者の視点に基づく豊かな消費生活の実現を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指す。
使用教科書・副教科書等	教科書「消費生活」(文部科学省)

2 学習計画及び評価方法等

月	学習指導内容	配当時間	指導上の留意点
4	第1章 社会を支える消費者 1. 消費生活の役割 2. 生涯の計画と管理 3. 消費生活の変化と消費生活の変化	3 5 12	<ul style="list-style-type: none"> 人は生きている限り「消費者」であることを知り、消費生活を学ぶ大切さを理解させる。 消費者問題の発生の背景と消費者運動の歴史を知り、消費者宣言の内容を理解させる 生涯設計の計画の中で職業について調べまとめ発表しシェアすることで理解を深化させる 消費者の直接的な被害、間接的な被害を理解し消費者問題は環境問題などの分野を含むものである事を捉える。 消費者が安心して消費生活を営むための企業の社会的責任や企業間競争のルールについて考える。 安全であることの意味、危害の未然防止のための行政の必要性、安全基準、安全規格の問題などを理解させる。 安全性に関わる情報、消費者行政の情報など、情報の質、信頼できる情報かなど情報のリテラシーが必要であることを理解させる
5	第2章 消費者被害と消費者の権利・責任 1. 消費者が受ける不当な不利益 2. 消費者者の権利確立と方策	5	
6	第3章 消費生活の安全と自由 1. 消費生活の安全の確保 2. 消費生活の自由の確保	4	
7	3. 信頼できる情報の確保	10	
9	第4章 消費者の自立支援 1. 支援の必要性 2. 事業者からの支援	2 2 1	
10	第5章 環境と消費者 1. はじめに 2. 地球環境問題と私たちの生活 3. 消費の価値観の変化と環境問題	2 2 2	
11	4. 人間の消費行動が地球環境に与える影響 5. 持続可能な社会への枠組み 6. 商品サービスの選択と利用 7. エシカル消費	4 3 3 4	
12	8. 持続可能なライフスタイル	4	
	第6章 消費者契約と法 1. 生活の中の契約 2. 契約と責任 3. 複雑・多様化する販売方法と悪質商法	4 4 4	<ul style="list-style-type: none"> 「契約」の概念を理解し、契約社会における生き方を考えさせる。 さまざまな問題商法とその手口を知る。 沖縄県の現状を知らせ、賢い消費者とは何かを考えさせる。 消費者信用について十分な理解をし、その利用法と危険性を把握して自分のかかわり方を考える。
1	4. 消費者取引と関連法 5. 多様化する支払い方法と資金調達 6. グローバル化と消費生活	3 3 5	
2	第7章 環境と消費者	4	
計		105	<ul style="list-style-type: none"> 将来に負の財産を残さない環境保全の考え方を踏まえた消費生活について考えさせる。

※ 評価は「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「技能」「知識・理解」の4つの観点で行います

※ 評価の方法は、学習状況、提出物（プリント、作品など）、定期テスト、実習における積極性、実習態度を総合的に評価します。